

平成 25 年度 学校経営計画

学校づくりは、授業づくり 授業づくりは、学級づくり 学級づくりは、人間関係づくり
- 自分や周りの人（家族・友達など）の大切さに気付き、目標をもって生活する -

1. 学校教育目標の主題「人間性豊かで社会性と自主的実践力のある子どもを育成する」

目指す子ども像	自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動できる子ども ・他者とコミュニケーションをとる能力・態度 （あいさつ・返事・応答の仕方） ・かかわり合う人への関心や働くことの理解 （感謝する気持ち・仕事の大切さ）
目指す学校像	授業が分かり、友達と過ごすことが楽しい学校（子ども） 子どもを通わせてよかったと思える学校（保護者） 活躍できる場があり、やりがいのある学校（教職員） 「情報交換（共有）がない」連携は無意味である 「相互の行動連携」があって初めて意味をもつ 直接的（懇談会・家庭訪問・地域への行事参加等） 間接的（学級通信・学年だより・学校だより・ホームページ等） 例 学級経営方針 授業方針 学級の実態等
目指す教員像	一人一人が「よさ」を生かす（個性） 自らを向上させようとする努力（創造） 互いに認め合い、手を結び合う（協働） 子どもは教えられて初めて知る。＝子どもは教えないことには学ばない。

2. 学校経営目標（学校評価 8項目）

学力向上	3項目	学習効果をあげる為の学習規律・各教科授業の充実
豊かな人間性	3項目	生活規律の確立・挨拶・掃除の徹底
体力の向上	2項目	体力向上・体育授業の改善、食育の推進

3. 授業づくり

子どもたちに確かな学力が身に付くように、それぞれの教師が日々、教材研究をして自己を高めていことにより授業の質を向上させ、分かりやすく、楽しい授業を行う。

【より豊かな問題解決型学習のための10か条】

- 1 教師の声のトーンが上がりすぎていないか？
- 2 教師が話し過ぎていないか？
- 3 話を繰り返していないか？
- 4 子どもの実際より先走っていないか？
- 5 学習課題のレベルが下がっていないか？
- 6 肝心な場面でスモールステップになっていないか？
- 7 教師の準備した「正解」を当てるような授業になっていないか？
- 8 生徒が時間をかけて創り出したものを無駄にしていないか？
- 9 結局はテストの点数だけを重視していないか？
- 10 「この単元（授業）でどんな成長をさせたいか」というビジョンが明確化？